釧路総合振興局記者クラブ配付資料

報道発表資料の配付日時　令和3年(2021年)5月10日（月）14:00

発表項目	釧路町村会「地域づくり広域プロジェクト」令和３年度事業の決定について		
記者ﾚｸﾁｬｰのお知らせ	（実施日時） 月　日（　）　時　分	発表者	
		発表場所	
概要	釧路管内の市町村が連携して取り組む「地域づくり広域プロジェクト」について、令和３年度の事業を別紙のとおり決定しましたのでお知らせします。		
参考 ※発表のポイントやねらい、経緯等	「地域づくり広域プロジェクト」は、市町村の係長級職員をメンバーとする専門プロジェクトチームを設置し、農・林・水・観光に係る事業に取り組んでいます。 （平成 21 年度から事業を開始し、今年度で 13 年目） プロジェクト事業の実施を通じて、管内共通の課題の解決に取り組むとともに、管内市町村の一層の連携強化を図っています。		

報道(取材)に当たってのお願い		
他のｸﾗﾌﾞとの関係	同時配付 同時レク	（場所）

担当 （連絡先）	地域づくり広域プロジェクト事務局 釧路町村会事務局長　澤野　貢一（0154-43-0649）

釧路管内地域づくりビジョンの実現に向けた取り組みについて

令和３年５月　釧路町村会

■釧路管内地域づくりビジョン策定及び事業実施の経過

○平成１９年１月から１年間にわたり町村長と釧路支庁長との懇談会を開催し、釧路管内の諸課題に対して、町村が連携して取り組むことができる施策について討議

○平成１９年６月、懇談会における討議結果を踏まえ、町村の諸課題について、連携して取り組むことが可能な施策をまとめた「釧路管内地域づくりビジョン」を策定

○平成１９年９月、ビジョン実現のための推進組織「地域づくり広域プロジェクト」を設置

○平成２１年度から５つの「専門プロジェクト」において事業を開始。令和３年度は事業開始から１３年目となる

◎「釧路管内地域づくりビジョン」のポイント

共通認識	① 釧路地域が一次産業（農林水産業）を中心に成り立ってきた歴史的経過を踏まえ、このことをもう一度しっかりと見つめ直す。 ② １次産業に笑顔なくして、２次、３次（観光を含む）産業の活性化はなしえない。 ③ １次産業の再興に管内がひとつになって取り組むことによって、貴重な財産である観光資源が活かされる。
取組方針	○ 市町村間でできることから連携を図る。 ○ 住民も行政も管内がひとつになって協力・連携していく。 ○ 管内町村が一体となった上で、釧路市とも一層の連携を図る。

↓

北海道の中の釧路地域、日本の中の釧路地域、
世界の中の釧路地域として、存在感や魅力の向上を実現！

■釧路管内地域づくりビジョンの実現に向けた取り組み

釧路管内地域づくりビジョン

↓

ビジョンの実現に向けた取り組みの検討

↓

「地域づくり広域プロジェクト」を設置（５つの専門プロジェクトで構成）

活力ある農畜産業プロジェクト	環境保全型森づくりプロジェクト	「海の幸」新ブランド化推進プロジェクト	観光振興プロジェクト	人材育成・確保プロジェクト

■地域づくり広域プロジェクトの推進体制

○地域づくり広域プロジェクト推進会議

プロジェクトの全体の企画立案・総合調整を行い、プロジェクトを円滑に推進するために設置

構成員
①次に掲げる町村課長
　広域行政担当課長、農畜産業担当課長、林業担当課長、水産業担当課長、観光担当課長
②釧路町村会事務局長
③釧路総合振興局地域政策課長、くしろ地域支援室主幹

※ 釧路市はオブザーバーとして参加

○専門プロジェクトチーム

専門プロジェクトの具体的な検討を行うために設置（Ｌ：リーダー、Ｓ：サブリーダー）

○活力ある農畜産業プロジェクトチーム
担当～町村農畜産業担当係長　〔Ｒ３　Ｌ：釧路町、Ｓ：標茶町〕
（家畜の増産に向けた方策の検討など、活力ある農畜産業の実現に向けた取り組み）

○環境保全型森づくりプロジェクトチーム
担当～町村林業担当係長　〔Ｒ３　Ｌ：浜中町、Ｓ：標茶町〕
（植樹・育樹活動の実施や木とふれあう機会の提供、担い手の育成・確保に向けた方策の検討など、林業の振興に関する取り組み）

○「海の幸」新ブランド化推進プロジェクトチーム
担当～町村水産業担当係長　〔Ｒ３　Ｌ：厚岸町、Ｓ：白糠町〕
（管内水産物のブランド化に向けた情報発信や、水産資源の増養殖推進のための方策の検討など、水産業の振興に関する取り組み）

○観光振興プロジェクトチーム
担当～町村観光担当係長　〔Ｒ３　Ｌ：鶴居村、Ｓ：弟子屈町〕
（釧路空港と連携した事業やＪＲ線の利用促進に向けた取組など、観光の振興に関する取り組み）

○人材育成・確保プロジェクト
　他の４プロジェクトチームを通じて、次世代の農林水産業、観光産業を担う多様な人づくりを進める。
※ 釧路市、釧路総合振興局は、各プロジェクトチームにオブザーバーとして参加。

活力ある農畜産業プロジェクト

令和２年度取組結果		令和３年度取組予定	
1. 家畜の増産に向けた方策の検討【継続】	○基幹産業、地域社会の維持のためには酪農・畜産農家が安定した営農を持続できる環境が大切なことから、新規就農支援や営農者のサポート体制など管内の連携体制を含めた方策を検討する。 (1) 管内の酪農経営におけるキャパシティ把握のため、過去５年間の離農時の経営面積や農地の集積先、新規就農者の農地面積等について調査するとともに、情報発信の手法等について検討した。	1. 家畜の増産に向けた方策の検討【継続】	○基幹産業、地域社会の維持のためには酪農・畜産農家が安定した営農を持続できる環境が大切なことから、新規就農支援や営農者のサポート体制など管内の連携体制を含めた方策を検討する。 (1) 担い手対策の対象とすべきターゲットを絞るため、管内で必要とされる担い手について検討するとともに、令和２年度に行った管内の酪農経営におけるキャパシティの把握状況を基に、情報発信の具体的な手法について検討する。

環境保全型森づくりプロジェクト

令和２年度取組結果		令和３年度取組予定	
1. 植樹・育樹活動等の実施【継続】	○管内市町村が連携してきた植樹活動をはじめ、植樹した木の育樹活動への取組等を実施し、これまでと同様「森林は自然の貯金箱」を標語として、それぞれの地域特性にあった方法で森づくりを実施する。 (1)各市町村における植樹・育樹活動の実施 ・実施　１市町村 ・一般参加者なしで実施　４市町村 ・中止　３市町村 (2)各市町村の植林実績　合計 708ha	1. 植樹・育樹活動等の実施【継続】	○管内市町村が連携してきた植樹活動をはじめ、植樹した木の育樹活動への取組等を実施し、これまでと同様「森林は自然の貯金箱」を標語として、それぞれの地域特性にあった方法で森づくりを実施する。 (1)各市町村における植樹・育樹活動の実施 (2)各市町村の植林計画　合計 651ha
2. 木とふれあう機会の提供【継続】	○「木とふれあい」「木に学び」「木と生きる」木育の取組を、管内市町村が連携して、広く地域住民に理解してもらうためのイベントを実施。 (1)開催を予定していた「木育・森づくりフェア」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	2. 木とふれあう機会の提供【継続】	○「木とふれあい」「木に学び」「木と生きる」木育の取組を、管内市町村が連携して、広く地域住民に理解してもらうためのイベントを実施。 (1)「木とのふれあい」をテーマとしたイベントを関係機関の協力により開催（11月予定）
		3. 担い手の育成・確保【新規】	○林業の担い手の育成・確保に係る取組について情報共有するとともに、求められる林業人材像について協議し、今後の具体的な取組の方向性を検討する。

「海の幸」新ブランド化推進プロジェクト

令和２年度取組結果		令和３年度取組予定	
1. 管内水産物等の情報発信 【継続】	○管内水産物のブランド化を進めていくため、漁業協同組合等の協力機関と連携し販売促進のためのイベント開催や振興局ホームページの活用を通じて管内一体となった情報発信を進める。 (1) ホームページを活用した情報発信の充実 ・釧路総合振興局のHP「くしろ８市町村魅力なび」の掲載情報に、魚介類の料理レシピを追加（13品目） (2) 民間企業と連携したイベント等における管内水産物等の情報発信 ・開催を予定していた「くしろ海の幸PRフェア」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1. 管内水産物等の情報発信 【継続】	○管内水産物のブランド化を進めていくため、漁業協同組合等の協力機関と連携し販売促進のためのイベント開催や振興局ホームページの活用を通じて管内一体となった情報発信を進める。 (1) ホームページを活用した情報発信の充実 ・釧路総合振興局のHP「くしろ８市町村魅力なび」のコンテンツの内容充実を図る。 (2) 民間企業と連携したイベント等における管内水産物等の情報発信 ・弟子屈町の「道の駅摩周温泉」において、民間企業や産業団体等と連携し、多くの集客が見込めるイベント等に合わせてＰＲ販売事業を実施する。
2. 水産資源の増養殖 ～前浜から陸への検討 【新規】	○沿岸養殖において既存養殖事業により前浜での養殖等の場所確保が困難な状態であり、前浜だけではなく陸上における水産物の増養殖を推進するための方策について検討を行う。 (1) 新たな増養殖技術に係る研究 ・養殖事業に係る勉強会の開催 日時：11月5日(木)15:00～16:30 場所：釧路町別保コミュニティセンター 内容：サーモントラウト養殖の現状と可能性、道東地域での魚類養殖の可能性について 講師：北海道栽培漁業振興公社職員2名 参加：市町村職員等 約20名	2. 水産資源の増養殖 ～前浜から陸への検討 【継続】	○沿岸養殖において既存養殖事業により前浜での増養殖等の場所確保が困難な状態であり、前浜だけではなく陸上における水産物の増養殖を推進するための方策について検討を行う。 (1) 新たな増養殖技術に係る研究 先進地視察や勉強会等を実施し、前浜や陸上での新たな水産物の増養殖の可能性について検討する。

観光振興プロジェクト

令和２年度取組結果		令和３年度取組予定	
1. 釧路空港との連携事業 【継続】	○空港線への植栽ゾーンの形成 (1)釧路地域を訪れる観光客を温かく迎えるため、管内市町村が共同で玄関口である釧路空港にアクセスする路線に木花を植栽 ・実施日:6月26日(金) ・場　所:道道釧路空港線中央分離帯内花壇 ・参加者:66人(市町村・振興局職員等) ・数　量:ｱﾘｯｻﾑ、ｻﾙﾋﾞｱ、ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞ等 2,368株 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためｾﾚﾓﾆｰ等を中止し、規模を縮小して実施 ○釧路空港ビルの利活用 (1)市町村PRブース「たんちょうプラザ」の活用 ・各市町村紹介パネル展示、パンフレット常設等 (2)ＦＭくしろサテライトスタジオの活用 ・イベント告知・観光情報等の発信（全16回出演） (3)釧路空港ビルで開催するイベント等への協力 ・実施を予定していた季節運航便就航歓迎事業及びそらフェスin釧路空港での食材等ＰＲイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1. 釧路空港との連携事業 【継続】	○空港線への植栽ゾーンの形成 (1)釧路地域を訪れる観光客を温かく迎えるため、管内市町村が共同で玄関口である釧路空港にアクセスする路線に木花を植栽 ・実施日:6月中旬～下旬（予定） ・場　所:道道釧路空港線中央分離帯内花壇 ・参加者:住民、標茶高校生徒、市町村職員等 ・数　量:約2,400株 ○釧路空港ビルの利活用 (1)市町村PRブース「たんちょうプラザ」の活用 ・各市町村紹介パネル展示、パンフレット常設等 (2)ＦＭくしろサテライトスタジオの活用 ・イベント告知、観光情報等の発信（全16回予定） (3)釧路空港ビルで開催するイベント等への協力 ・伊丹・中部空港からの季節就航等を歓迎する取組の実施 ・そらフェスin釧路空港での釧路地域の食材等ＰＲイベントの実施
2. JR線の利用促進に向けた取組 【継続】	○JR北海道釧路支社等と連携し、観光列車・企画列車の取組により釧路圏域の鉄路の魅力を、観光ﾒﾆｭｰとしての位置づけを強化し国内外に発信する。 ・ＳＬ冬の湿原号の乗客等に対するPRイベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	2. JR線の利用促進に向けた取組 【継続】	○JR北海道釧路支社等と連携し、観光列車・企画列車の取組により釧路圏域の鉄路の魅力を、観光ﾒﾆｭｰとしての位置づけを強化し国内外に発信する。 ・関係機関と連携してJR根室本線・花咲線・釧網線の利用促進に向け取り組んでいく。 ・花咲線のルパンラッピング列車や、釧網線のSL・ノロッコ号を活用したPRの推進 ・「花咲線全通100周年」をはじめ、多くの周年を迎えることから管内一丸となったJR利用促進と観光PR活動を検討